

3 款 3 項 1 目

第 1 章 思いやりと希望にみちたまちづくり

【会計】介護保険特別会計

基本施策 4 高齢者支援の充実

3 款：地域支援事業費 3 項：包括支援事業・任意事業費

施策 3 多様な生活支援サービス提供体制の整備を推進します

1 目：包括支援事業費

| | | |
|------|--------|------------|
| 事業 | 2 | 生活支援体制整備事業 |
| 担当所属 | 高齢者福祉課 | |

【予算額・決算額】(円)

| 予算額 | 決算額 | (財源内訳) | | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----|-----------|
| | | 一般財源 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他特財 |
| 19,937,000 | 18,192,672 | 4,002,388 | 7,095,142 | 3,547,571 | 0 | 3,547,571 |

【決算額の節別内訳】(円)

| | | | | | |
|----|-----|---------|----|-----|------------|
| 08 | 報償費 | 113,594 | 09 | 旅費 | 640 |
| 11 | 需用費 | 11,068 | 13 | 委託料 | 18,067,370 |

【実施計画の概要】

| | |
|-------|---|
| 事業の内容 | 市は、高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進していくため、日常生活圏域を中心に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置します。 |
| 事業の目的 | 単身高齢者や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、地域住民に身近な存在である市町村が中心となって生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とします。 |
| 事業の効果 | 生活支援等サービスの提供体制を整備することで、高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができます。 |

【事業の概要】

- ・市内 5 ヶ所の日常生活圏域毎に生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活を支える仕組みづくりを進めました。
- ・生活支援コーディネーターが収集したボランティア等による生活支援等サービスの情報を市が「地域の支え合い・助け合いリスト」として編集・発行しました。

【活動指標・成果指標】

| 指標名 | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 | 平成 26 年度 |
|---------------------------------|----------|----------|----------|
| 生活支援コーディネーター（第 2 層）の配置数 | 5 人 | — | — |
| 生活支援等サービス実施団体（箇所）把握数 | 129 箇所 | — | — |
| 高齢者福祉(在宅福祉)サービスが充実していると感じる市民の割合 | 24.5% | — | — |